（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	grow			
○保護者評価実施期間	2025 年　1 月　20 日		～	2025 年　2月　20日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	24名	（回答者数）	15名
○従業者評価実施期間	2025　年　1月　20日		～	2025　年　1月　31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	７名	（回答者数）	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　3月　13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プレイルームの見通しのよさ、遮蔽物の少なさ。	・死角をできるだけないように、物の配置を工夫したり、必要なもの以外を置かないようにしている。 ・リラックスエリアや集中するための学習室などの用途に合わせたエリアや使いわけ。	・広さを利用した療育や運動を更に充実させていく。 ・児童の特性に併せた場所の提供を行えるよう、わかりやすくエリアを区切る。
2	イベントの充実 体験型のイベントを多くしている。	・お買物支援、外出支援などで公共施設でのルールの把握や身辺自立の向上などを意識したイベントを多めに取り入れている。移動手段を電車にすることもある。 ・食育などのイベントで偏食気味の児童が食べられるものを増やしていけるように工夫している。	・こどもが楽しく学べるようイベント内容の工夫を行い、保護者の方にも協力をいただきながら運営していく。
3	定期的な外遊び時間の設定と静と動のメリハリ	・晴れの日、できるだけ10分～30分間目の前にある公園で外遊びの時間を設けている。公園遊びではボールや遊具、ストライダーなどさまざまな遊び方法を用意している。 ・学習が終われば余暇時間に運動をしたり玩具で遊んだりして活発に動いていい時間にはなっているが、帰る10分前、17時半以降は静の時間として座ってできる遊びに切り替えるようにルールをつくっている。	・子どもたちにわかりやすく公園遊びのルールや帰ってくる時間を予防教育を行う。 ・雨の日は外に出ることができず、動きたい児童には密集してストレスになってしまうこともあるので、室内で過ごせる運動を提供できるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の少なさ	・地域での子ども食堂や催しもののイベントを知らない。	・事業所周辺で行われているイベントや地域交流の場の情報を入手し、参加できそうなものは積極的に参加していく。参加することにより、事業所外での関わりや地域の人との交流を深め事業所を知っていただく。
2	保護者会・保護者同士の交流等の活性化	・1年の間に数回は行っているものの、あまり保護者様全体に浸透していない。 ・利用予定希望の案内と同時に参加募集を行っているため、予定を入れてしまっている保護者様が多い。	・保護者参加型のイベントや参観できるイベントの案内をわかりやすくし、早い段階での告知を行う。 ・イベントの趣旨だけでなく、悩みや相談事などをゆっくり職員に話ができることや、保護者様同士での交流が深められるという点を保護者様に知っていただけるよう、定期的な開催と案内を行っていく。
3			